



2022年11月10日

各位

会社名 日本ピグメント株式会社
 代表者名 取締役社長 加藤 龍巳
 (コード番号 4119 東証スタンダード市場)
 問合せ先責任者 取締役執行役員 梶 英俊
 (TEL 03-6362-8801)

第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期(2022年4月1日～2022年9月30日)連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,700	250	300	200	127.39
実績値(B)	13,394	△50	76	64	41.08
増減額(B-A)	△305	△300	△223	△135	—
増減率(%)	△2.2	△120.3	△74.7	△67.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績(2022年3月期第2四半期)	13,835	835	904	602	383.94

(参考)2023年3月期第2四半期個別累計期間の業績予想と実績との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,300	180	120	76.43
実績値(B)	6,615	19	10	6.48
増減額(B-A)	△684	△160	△109	—
増減率(%)	△9.4	△89.2	△91.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績(2022年3月期第2四半期)	7,345	525	356	227.12

差異の理由

第2四半期連結累計期間においては、日本国内では自動車産業向けで半導体不足の影響が想定以上に長引いていることにより、樹脂全般で在庫調整の影響を受け、経費面では電気料金の高騰が収益を圧迫しました。海外では東南アジア地区でも原料不足や半導体を起因とする部材不足の影響による顧客の減産により販売が減少しました。これらの要因より第2四半期の業績は当初の予想を下回る結果となりました。

2. 通期業績予想の修正

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	28,700	900	1,000	600	382.18
今回修正予想（B）	29,700	350	500	300	191.09
増減額（B－A）	1,000	△550	△500	△300	－
増減率（％）	3.5	△61.1	△50.0	△50.0	－
（ご参考）前期通期実績 （2022年3月期）	27,567	1,284	1,461	885	564.04

（参考）2023年3月期通期個別業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	15,300	600	400	254.79
今回修正予想（B）	14,000	350	250	159.24
増減額（B－A）	△1,300	△250	△150	－
増減率（％）	△8.5	△41.7	△37.5	－
（ご参考）前期通期実績 （2022年3月期）	14,804	1,004	737	470.00

修正の理由

第2四半期連結累計期間までの業績は、日本国内、東南アジア地区とも当初の予想を下回る結果となりました。第3四半期以降につきましては、日本国内は主要需要先である自動車産業において減産が続き、第3四半期以降の回復を見込むものの当初予想を取り戻すまでには至らないと見ております。

以上から2023年3月期通期連結業績予想につきまして上記のとおり修正いたします。

（注1）業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上